

近畿大学病院消化器内科で進行肝臓に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

愛媛県立中央病院 消化器内科 (以下、当科) では、「Gd-EOB-DIPA enhanced MRI 肝細胞相による anti PD-1/PD-L1 抗体の一次耐性予測に関する多施設共同前向き研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で進行肝臓に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、愛媛県立中央病院臨床研究委員会で審査され、承認を受けて行われます。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

この研究では、免疫チェックポイント阻害薬の効果と MRI の画像所見について調べることを主な目的としています。そのため、当科で進行肝臓に対する治療を受けられた患者様のうち、免疫チェックポイント阻害剤を用いて治療した方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する試料・情報の項目

- カルテ情報 (年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、併用薬、予後に関する情報等)
- 各種検査結果 (血液検査・細菌遺伝子検査・病理学的検査・画像検査等)
- 余剰の腫瘍組織 (遺伝子配列について検査)

③ 利用する者の範囲

近畿大学病院消化器内科 工藤 正俊、西田 直生志、上嶋 一臣、依田 広、南 康範
萩原 智、田北 雅弘、青木 智子、千品 寛和、盛田 真弘
近畿大学放射線診断科 鶴崎 正勝
近畿大学医学部ゲノム生物学教室 西尾 和人
近畿大学医学部病院病理部 佐藤 隆夫
神戸大学医学部大学院医学研究科医放射線診断学分野 祖父江 慶太郎
兵庫医科大学 病原生物学 石戸 聡、孫 安生
東京大学医学部免疫細胞治療学講座 垣見 和弘、小林 由香里

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

近畿大学病院 消化器内科 工藤 正俊

⑤ 研究対象者の求めに応じて、研究対象者の試料・情報の利用を停止すること

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付

けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑥ 上記⑤の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

愛媛県立中央病院 消化器内科 平岡 淳

電話：089-9471-1111

以上